

# 同窓会報

ICHINOMIYA NISHI



愛知県立  
一宮西高等学校

## 第34号

2019年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局  
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376  
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196  
E-mail [dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp](mailto:dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp)







## 令和元年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第14回生・第34回生学年同窓会 同時開催)

**日時** 8月3日(土) 午後5時より  
**場所** 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 7Fシビックホール  
**会費** 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または  
 E-mail [dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp](mailto:dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp) で  
 お知らせください。その他のお便りもE-mailどうぞ。

※来年度は、第15回生・第35回生(昭和56年卒・平成13年卒)の学年同窓会を計画しております。

※西高ホームページ  
<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>  
 も参考にして下さい。  
 HPの中にも、同窓会のE-mailアドレスが記されています。



## 令和元年の思い

同窓会 副会長 大津 純

暑中お見舞い申し上げます。同窓会会員の皆様には、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素は一宮西高校同窓会の運営にご理解並びにご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

令和になって初めての春の叙勲が発表されました。調停委員の分野で我が一宮西高校同窓会一回生で前同窓会長の山内進さんが、瑞宝双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。今後とも一層ご活躍され、私共後輩へのご指導を引き続きお願い申し上げます。

さて、2019年新天皇がご即位され、年号も平成から令和となり新しい時代がスタートしました。私事ではありますが、平成15年より平成31年4月まで16年間市議会議員として皆様より付託を受け市政発展の一助を担うべく努めてまいりました。

かたわら1級建築士として設計デザイン事務所を経営し、市内外に多少なりとも建築文化、並びに経済的な貢献をして参りましたが、人間二足のワラジはなかなか難しく、還暦を過ぎ64歳となった今、もう一度「建築」に真剣に取り組みたい思いが増してまいりました。議員としての公職は、若い世代に譲り、残された時間を思う存分自身の夢と志である「建築」にどっぷりつかりたいと決心致しました。

人生の第4コーナーをいつ加速させるか悩んでいた時、令和時代のスタートがそのスイッチを押したのかも知れません。

最後になりましたが、本年8月に開催予定の同窓会総会に多数の会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。





## 昨年度の総会報告

平成30年度の総会は、昨年8月4日(土)午後5時より、尾張一宮駅前ビル7階シビックホールで行われました。

13回生・33回生を中心として、総勢100名あまりの方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成29年度の事業報告・会計報告、役員選出、平成30年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。また、同窓会報の送付について下記の原案が提出され、認められました。

### 同窓会報の送付について

#### (1) 検討の経緯

同窓会報の発送については、その発送費用が会計の多くの部分を占めており、発送の継続やその費用の捻出については、10年以上役員会で話題となってきました。この数年は50周年事業の一環として周年事業積立金より支出したり、同窓会入会時の周年事業積立金を減額し、その分を初年度会費に充てることで同窓会の収入を増やしたりして、会報の送付を継続してきました。年会費・協力金の納入を毎年お願いしておりますが、その収入を含めても単年度では赤字になる年もあるというのが現状です。

生徒募集1クラス減による3年後の入会者数の減少(つまりは年会費収入の減少)により、今後の発送の継続について、検討する必要性が増してきました。近

年、ホームページを整備し、その中で会報を閲覧・印刷できるようになったことも踏まえて、役員会で下記の原案を提示しました。

#### (2) 案

- ・同窓会報について、卒業後20年間(最初の学年同窓会まで)は全員送付する。
- ・21年日以降、年会費を振り込んでいただいた方には翌年から5年間送付する。未納の方は送付しない。
- ・役員、旧職員については今まで通り送付する。
- ・年会費の振込みについては2018年度より把握する。
- ・2019年度同窓会報(34号)で原案を掲載し、2020年度同窓会報(35号)から実施する。

さて、懇親会は、学年同窓会を担当した13回生・33回生に新会員の52回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がりました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年度は14回生と34回生の学年同窓会を開催させていただきます。多数の方が参加していただければと考えております。なお、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いです。

今年度の総会に、是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。





なつかしい先生方  
「西高の未来」

水野 光平



西高は県下有数の2番手校です。そして2番手校には2番手校な

りの意地とプライドとやり方があります。複合選抜の組合せの悪さで志願者のほとんどが第1希望で、しかも毎年の低倍率。いつ定員割れるか毎年ひやひやしていました。そんなわけで入学生の学力は幅があり、それが3年間でさらに増幅されていくという感じでした。よって大学入試も「国立大学合格6割以上、難関大学合格50名以上」を目標に掲げるものの、近年苦戦が続いています。なぜ進路実績にこだわるのかというと、これが西高の生命線だからです。西高見学会でのアンケートの結果、多くの受験生が西高の進路実績を志望理由にあげています。だから進路実績が2年連続落ち込むような事態に陥れば西高は受験生やその保護者の支持を得られず、西高のブランド力はだんだんと低下してゆくでしょう。以上のように西高は「高校入試」と「大学入試」の二つの場面で毎年修羅場をくぐっているといっているのでしょうか。今のところかろうじて踏みとまっけているものの、これが維持できるかどうかは今後の取り組み次第です。そのために教員団には西

転・退職者

舟橋 緑

この度の異動で、江南高等学校に転勤となりました。一宮西高学校には10年間お世話になりました。この場をお借りして、諸先生方、保護者の皆様、卒業生を含めた生徒の皆さんに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

西高での思い出と言えば、やはり卒業式です。「あんなに幼かった若者が、かくも雄々しく成長するものか」と、毎回、胸を熱くしました。これも、西高が「緊張・責任・情熱」の学校であるからだと思えます。生徒は皆、自らの進路選択に責任を持ち、情熱を傾けて授業に臨む。先生方もその熱意に応えるべく、時に厳しい要求をしながらも全力を注ぐ。それは、ピリピリとした緊張感が漂う47分であり、SS授業であったの違ひこそあれ、同じ夢に向けて情熱をぶつけ合った3年間がお互いを成長させてくれた、その実感が凝縮されて胸に強く迫るのが、私にとっ

ては卒業式の瞬間であったのです。欲張りな西高生は、部活にも学校行事にも情熱を注ぎ続けました。その活躍、折々に見せてくれる弾ける笑顔や光る汗、さらには悔し涙でさえも、10代の生徒の皆さんの姿は澁刺としたものであり、学校に活力をもたらし続けてくれました。西高の文化というものがあるならば、それは間違いない、卒業生を含めた生徒の皆さんが築き上げたものであり、その中に身を置くことができたことで、私自身も成長をさせていただきました。改めた。活力をいただきました。改めて、幸せな10年間であったと思います。今後とも西高は、地域の期待を集める「憧れの、入学したい学校」として進んでいかれるものと確信しております。西高よ、立ち止まらずに「進みゆかん、いざ」です。最後になりましたが、一宮西高学校と同窓会の益々のご発展を心より祈念いたします。

ありがとうございました

岩堀 昌史

まずこの紙面をお借りして、前野球部監督として、野球部のみんな、春の快進撃「春の県大会ベスト16」おめでとう！本当によく頑張る、素晴らしい成績だったと思います。昨夏、新チーム結成後なかなか勝てず、悔しい思いをして秋冬の練習に取り組みました。春のスタートも主力のケガ、体調不良等が重なり、普通に考えれば県大会出場も絶望的な状況だったと思います。その状況で我慢し、耐え抜き、力を合わせ支え合い励まし合った結果だと私は知っています。だから本当にうれしかったです。このような部員達と部





活動をやってこられたのは私の誇りです。今後のますますの活躍を期待しています。

さて、一宮西高校では10年間お世話になりました。前半5年間はクラス担任として、後半5年間は生徒指導主事として、そして先ほど書かせて頂いた野球部には10年間通して監督として携わらせて頂きました。あつという間の10年でした。

10年間どの場面でも言い続けてきたのは、離任式でも触れましたが私の中で西高生は「地域の代表」であるという事です。西高には各中学校の成績上位の生徒が難関入試を突破し入学してきます。そして、高い目標を立て学習に取り組み、卒業時には多くの生徒が国公立大学や難関大学に進学していきます。また、部活動では多くの部が地区予選を勝ち抜き、県大会へ出場し、時には東海大会や全国大会にも出場することがあります。だから私は、西高生は「地域の代表」と捉え、そのような観点から西高の生徒を見、声をかけてきました。代表であるならば、「学習ができる」「部活動が強い」だけでなく、それなりの立ち居振る舞いが必要と考え生徒の指導にあたってきました。例えば、挨拶ができる、時間がしっかり守れる、場に応じた適切な対応ができる等です。電車乗車マナーや交通マナーも同様ですが、学習指導、進路指導も大切ですが、あえて小さな細かいことを何度でも何度も繰り返し言うてきました。生徒の皆さんはどう感じたか(たぶん嫌だったでしょう)わかりませんが、周囲から信頼されるため、人間的に成長するためには必要なことだと考えました。10年間あまりたいしたことではできませんでしたが、担任の時も、生徒指導主事の立場でも、野球

部の監督としても、一貫して言い続けることができたと考えています。野球部員にはいつも言ってきた「周囲から応援される部員」に、西高生の皆さんには「地域から応援される西高生」になって欲しいと考えています。

西高には優秀な生徒、指導熱心な先生方、これまで西高を牽引してきた多くの先輩方がいます。皆さんで力を合わせて、今後も「自由と規律」のモットーのもと、これまでの西高の伝統を引き継ぎながらも、新しい令和の時代の西高を築いていって欲しいと思います。今後は学校の外から西高を応援しています。一宮西高校のますますの発展と西高生の今後のより一層の活躍を祈念いたします。10年間ありがとうございました。

## 西高の思い出

林 英之

私は正規の教員生活の最後の10年間を一宮西高校でお世話になりました。この間、多くの先生方に助けていただき、また、生徒にも恵まれて、充実した教員生活を送ることができました。大変感謝しています。さて、私は西高で8年間担任をしました。今回はそれ以外のことについてお話ししたいと思います。

まず、校務分掌では、10年間生徒会を担当しました。生徒会の行事の中で特に印象に残っているのが学校祭です。学校祭では群団長を始めとして多くの生徒が熱心に活動しており、普段はあまり目立たないような生徒が、見違えるように活躍している姿を見て大変感動しました。私は後半の5年ぐらいは、リーダーの指

導を主として行いましたが、この暑い中、熱中症にならないためにはいいなあと、正直言ってヒヤヒヤしながら練習場所を見て回っていました。今年も暑くなりそうなので、リーダーの人は十分に健康に気をつけて練習してください。

また、部活動では、10年間放送部の顧問をしました。私が西高に赴任した10年前には、放送部は部員がほとんどいなくて廃部の一手前でした。そこで、翌年から昼休みの放送を始め、兼部の生徒が多かったものの、何とか部員を集め、放送部を存続させることができました。一般の生徒はよく知らないと思いますが、放送部は昼休みの放送や体育祭の放送だけでなく、学校紹介や1年生への学校行事のオリエンテーション用のビデオを作成するなど学校のために大いに貢献しています。今年度からはLT委員の一部に放送部の活動を手伝ってもらって活動はより充実させてください。

この10年間、大変なこともありましたが、振り返ってみると、楽しいことばかりが思い出されます。今後の西高のさらなる発展を心から祈っています。



15 回生 遠藤 和彦

2018年度の一宮西高校同窓会東京支部会は、3月9日(土)に東京、新宿にて開かれました。本校からは





水谷治雄先生と私が出席し、20名ほどの方に参加していただきました。  
 新宿西口交番前の「西高の校章」の下に集い、1次会の会場へと向かいました。西高時代の懐かしい話や、近況報告で盛り上がり、あつという間の2時間でした。会場を移しての2次会も、大変盛り上がったものとなりました。幅広い年齢層の方が集まり、情報交換にも花が咲きました。また、本部に対する厳しいご助言もいただきましたので、それを良い方向に活かしていきたいと考えています。

東京を受験する在校生にも、この「東京支部会」の宣伝をたまにしており、近い将来もっと若い参加者が増えることを期待しております。  
 これからも関東圏在住、または東京に立ち寄られる皆様のご参加で東京支部会を盛り上げていただきたいと思っております。

**オーストラリア  
 スタディツアーの  
 報告**

国際部 遠藤 和彦

同窓会のご支援もいただいて、「オーストラリアスタディツアー」を実施しましたのでその報告をさせていただきます。

実施日時：2019年3月20日から

9日間

場 所：オーストラリア

クイーンズランド州

参加者：生徒 5名

男子 5名

女子 12名

引率教員 2名

主な目的：タウンズビルにある提携校のカーワン高校を訪問し、その生徒宅にホームステイをしながら、授業にも参加する。



本校は、文系普通科の中に、1クラス国際理解コースが昨年度よりできました。また、愛知県より「英語ハブスクール」の指定を受けて7年目となります。それと歩調を合わせるように、本校も「国際化」が進んでおります。卒業されて何十年もたつ皆様は信じられないかもしれませんが、現在、学校には2名の留学生（ドイツとオランダ）がいて、他の生徒と同じ授業を受けています。本校の生徒の中にも、1年間休学して留学する生徒が毎年出ている状況です。



生徒も、この流れは敏感に感じているようです。1・2年生670名ほどを対象に参加者を募ったら、当初の応募者は46名でした。1次試験・2次試験と選抜を重ねて、最終的に17名に絞りました。提携しているカーワン高校の、日本語を学習している生徒と本校の国際理解コースの生徒は、年に何回かスカイプで一緒に授業をしています。実際にそこに行ってみたくないので、国際理解コースからは12名の参加でした。ホームステイ先には泊らせていただき、週末も一緒に過ごしました。





今までの、「勉強するだけの」西高生とはまた違った、「多様」な学びができる「西高」の時代に入ったと感じております。今後とも卒業生の皆様のご支援をいただければ幸いです。



で、家族とともに休日を楽しんだようです。最後のお別れでは、涙を流しての感動的なシーンもありました。

### 同窓会費納入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百九十二名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いしました協力金とあわせて、八十七万円あまりをいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。今回からコンビニ振込みも可能となりましたので、同封の振込用紙をご利用の上、郵便局またはコンビニよりお振り込みください。よろしくお願いいたします。



### 2019年度 愛知県高等学校総合体育大会・新人体育大会・その他の大会の結果

#### 【陸上部男子】

《国体選手選考》 春季選抜競技会

少年共通5000m競歩に出場

《高校総体尾張支部予選》

400m 鈴木 健汰 県大会出場

3000m障害 鈴木 稜也 県大会出場

3000m障害 鈴木 稜也 県大会出場

鈴木 稜也 4位 県大会出場

#### 【陸上部女子】

《国体選手選考》 春季選抜競技会

成年女子5000m競歩に出場

《高校総体尾張支部予選》

4x400mR 鷺尾真生、大橋亮太、村上想太、池田将貴 県大会出場

4x400mR 村上想太、池田将貴、大橋亮太、鈴木健汰 県大会出場

丹羽 翔子 丹羽 翔子 県大会出場

6位 高田 佳奈 県大会出場

5位 高田 佳奈 県大会出場

4位 高田 佳奈 県大会出場

4位 高田 佳奈 県大会出場

4位 高田 佳奈 県大会出場

4位 高田 佳奈 県大会出場

4位 高田 佳奈 県大会出場

#### 【新体操部】

《高校総体尾張支部予選》

団体 4位 県大会出場

《愛知県護国神社奉納金盃旗争奪高等学校剣道大会》

本校 VS 国府 0-2 初戦敗退

《高校総体尾張支部予選》

個人 3-7 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

5位入賞 中島 聖 県大会出場

【剣道部女子】

《愛知県選抜剣道納金競演高等学校剣道大会》  
本校 VS 知立東  
0 - 1 初戦敗退

《高校総体尾張支部予選》  
団体 準々決勝敗退(ベスト8)

【サッカー部】

《高校総体尾張支部予選》  
2 回戦 対 杏和 2 - 1

3 回戦 対 津島 0 - 1 敗退

【ラグビー部】

《高校総体尾張支部予選》  
準決勝 対 尾北 63 - 5

決勝 対 一宮 31 - 0

尾張支部 優勝 県大会出場

【ハンドボール部女子】

《高校総体尾張支部予選》  
2 回戦 対 江南 22 - 10

3 回戦 対 西春 30 - 9

準決勝 対 木曾川 7 - 12  
3 位決定戦 対 古知野 17 - 7

優秀選手 加藤 くるみ 3 位 県大会出場

《高校総体県大会》

1 回戦 対 半田商業 23 - 7

2 回戦 対 愛知商業 12 - 22  
2 回戦敗退(県ベスト16)

【バスケットボール部男子】

《高校総体尾張支部予選》  
一回戦 一宮西 VS 岩倉総合

65 - 66 ●

【バスケットボール部女子】

《高校総体尾張支部予選》  
一回戦 一宮西 VS 木曾川

69 - 70 ●

【卓球部女子】

《高校総体尾張支部予選》  
団体 1 回戦 対 江南 3 - 0

2 回戦 対 津島 0 - 3 敗退

【テニス部男子】

《高校総体尾張支部予選》  
団体 1 回戦 対 小牧南

1 勝 2 敗 敗退

個人

シングルス 森 大河 ブロック優勝  
県大会出場

犬飼 風雅 ベスト8  
安岡 光司 ベスト8

ダブルス 森 後藤 犬飼 内村 高橋 小栗 大橋 土屋 中村 橋本組  
3 回戦

森重杉田 牧野山内 中山青山組  
2 回戦

秋田 片岡組  
1 回戦敗退

《高校総体愛知県大会》

森 大河 1 回戦敗退

【テニス部女子】

《高校総体尾張支部予選》  
団体の部

二回戦 岩倉総合 1 - 2 敗退

個人の部 シングルス ベスト8

有川恵里加 近藤 美沙 大橋 美空 梶原知花音

ダブルス ベスト8

有川恵里加 綿本 早希 西川 絢菜 早希 西川 近藤 美沙 大橋 美空

ソフトテニス部女子

《高校総体尾張支部予選》  
予選リーグ敗退

個人戦 中野小笠原組 第3位  
岩田 増間組 ベスト16  
ともに県大会出場

《高校総体尾張支部予選》  
学校対抗 5 位 県大会出場

個人 シングルス 野牧 大悟 5 位 県大会出場

ダブルス 野牧 山瀬 雄大 5 位 県大会出場

渡邊 就斗 9 位 県大会出場

個人 ダブルス 野牧 山瀬 優勝 県大会出場

同窓会年度幹事

第53回生

常任幹事 内田 堪太

年度幹事

1 組 北條健太郎 住田 遥

2 組 内田 堪太 今井 紀里

3 組 黒田 大翔 橋本 葵

4 組 林 純平 福井 未来

5 組 中村 賢治 杉山 直子

6 組 加藤 愛都 吉谷 俊祐

7 組 廣川 舞 向 彩佑里

8 組 倉知 侑希 児玉 彩海

9 組 北川 遼 桑原明日香

職員の異動

平成31年度  
◇退職者 (敬称略)  
数学 山崎 武嗣 (一宮西再任用)  
理科 大崎 万治 (一宮西再任用)  
国語 吉田 裕司 (中京大中京)  
地歴 林 英之 (一宮北再任用)  
英語 早川 和美 (退職)

◇転出者

教諭 岩堀 昌史 (海翔教頭)

国語 舟橋 緑 (江南)

保体 岡本 英洋 (尾西)

理科 岩井 愛友 (春日井東)

数学 志鶴丈佳光 (東浦)

理科 龍見さなえ (一宮南)

再任用教諭 小島 隆 (一宮興道非常勤)

地歴 水野 光平 (小牧南再任用)

任期付講師 黒木竜太郎 (美和期付)

庶務部 木田 康子 (美和非常勤)

昨年度の同窓会活動報告

1、同窓会総会の開催

平成30年8月4日(土)尾張一宮駅前ビル7階シビックホールで開催。旧・現職員・一般会員合わせて1000名あまりの参加をいただきました。

2、「同窓会報」第33号の発行

平成30年7月17日に発行いたしました。

3、同窓会郵送料カンパの実施

今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしくお願いたします。

4、東京支部会の開催

平成31年3月9日(土)新宿にて開催。西高からは、同窓生でもある水谷治雄・遠藤先生が出席され、合わせて20名ほどの参加がありました。

◇転入者

主任 小林 実香 (江南)

数学 加藤 明 (津島)

理科 太田 成樹 (江南)

保体 鶴見 保公 (天山西)

国語 菊間 美帆 (初任)

地歴 黒野 友哉 (初任)

理科 植村 恵実 (初任)

再任用教諭 鈴木 博己 (新川)

保体 阿部 一雄 (津島)

英語 水谷 忠司 (津島)

英語 金子 秀夫 (稲沢)

任期付講師 加藤祐太郎 (昭和期付)

庶務部 小鹿佐恵子 (海部教育事務所)

障害部 小鹿佐恵子 (海部教育事務所)

大学合格一覧表

(平成31年度入試)

北海道大	2	三重大	16	慶應義塾大	2
筑波大	1	滋賀大	4	東京理科大	12
千葉大	2	大阪大	2	明治大	3
横浜国立大	1	神戸大	3	愛知大	143
富山大	5	広島大	2	愛知淑徳大	97
金沢大	2	高知大	1	金城学院大	25
福井大	8	九州大	1	稲山女子学園大	61
岐阜大	39	熊本大	1	中京大	76
静岡大	1	愛知県立大	15	南山大	143
愛知教育大	26	名古屋市立大	19	名城大	145
名古屋大	32	大阪府立大	2	同志社大	26
名古屋工業大	19	国公立大合計	215	立命館大	43

5、同窓会入会式および卒業記念品贈呈式  
平成31年2月28日(木)に実施され、同窓会からは金森智博監査が出席しました。第53回生345名が同窓会に入会し、一般会員総数は19,478名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として、証書筒を贈呈しました。

6、国際理解教育への支援

国際理解教育の充実に向けて支援をしています。